令和 8 年度　新川和江顕彰事業

「新川和江 詩のつどい」

詩作品募集

あなたの思いを、
あなたの言葉で。

日々の暮らしの中で感じたこと、大切な人への思い、心に残る風景など、
あなたの自由な言葉で詩にしてみませんか。

結城市名誉市民であり、ゆうき図書館名誉館長の詩人・新川和江さんの思いを
受け継ぎ、「新川和江 詩のつどい」を開催します。

―年齢や創作経験を問わず、皆さまからの詩作品を募集します―

あなたの詩を未来へ・・・

●詩作品の募集

題材や詩の形式は自由です。あなたならではの言葉で表現した詩をお寄せください。

●作品集として未来へ

お寄せいただいた作品は、応募要件を満たすものについて、原則作品集に掲載します。

●言葉でつながる交流の場

希望する応募者による作品の朗読発表など、言葉を通した交流の場を設けます。

募集期間：令和 8 年10 月10 日(土)～11月 29 日(日)　※必着

応募方法などは中面をご覧ください。

主催：結城市・結城市教育委員会・（公財）結城市文化・スポーツ振興事業団

「新川和江　詩のつどい」詩作品募集

■応募資格■

市内在住・在勤・在学の方、市にゆかりのある方、主催者が適当と認める方。

※職業として詩作活動を行う方を除きます。

■募集期間■

令和８年１０月１０日（土）～11月２９日（日）※必着

■募集作品■

本人が創作した日本語による未発表の詩１作品（800 字以内）。題材及び詩の形式は自由。

※本事業の主旨に不適切な内容と判断したものは受付できません。

※生成 AI 等により作成されたものは応募いただけません。

※作品の返却は行いません。

作品応募の詳細や注意事項については、ゆうき図書館ホームページから「募集要項」をご確認ください。

■応募方法■

次のいずれかの方法で応募してください。

(1)所定の応募用紙に記入して作品と一緒にゆうき図書館へ持参または郵送

(2)ゆうき図書館ホームページ内のＷｅｂ応募フォームに入力して送信

■作品集の発行■

応募要件を満たした作品は、原則すべて作品集に掲載し編集・発行します。

■個人情報の取扱い■

応募により取得した個人情報は、本事業の実施に必要な範囲で使用し、それ以外の目的には使用しません。

言葉でつながる交流の場「新川和江　詩のつどい」

応募者をはじめ集まったみなさんが詩に親しみ、言葉を介して交流できる場として開催します。

日　時：令和９年２月６日（土）１４時～１５時３０分　※予定

会　場：石島建設プラネットホール・ゆうき図書館　３階　多目的ホール

内　容：希望する応募者による応募作品の朗読など。

※内容の詳細が決まり次第、ゆうき図書館内掲示やホームページ等にてお知らせします。

応募・お問合先：ゆうき図書館　〒307-0051 結城市国府町一丁目１番地１　☎0296-34-0150

新川　和江（1929～2024）

―詩人　新川和江―



1929 年(昭和 4 年)茨城県結城郡絹川村(現結城市) 小森に生まれる。10 歳のころ母から与えられた小学生全集童謡の巻のとりこになる。県立結城高等女学校（現結城第二高等学校）時代、下館市（現筑西市）に疎開してきた詩人西條八十のもとへ、自作の詩のノートを抱えて通うようになり、詩の手ほどきを受ける。

戦後上京し、好きなことを生涯やり続けるには、女も経済的に自立する必要があると考え、少女雑誌や学習雑誌に詩や小説を執筆しはじめる。

1953 年(昭和 28 年)、第一詩集『睡り椅子』を皮切りに、多くの詩集や編詩集などを出版し、1960 年(昭和 35 年)、『季節の花詩集』で小学館文学賞を受賞。

1981 年(昭和 56 年)、日本現代詩人会理事長に就任。1983 年(昭和 58 年)、日本現代詩人会会長に就任。同年、吉原幸子とともに女性を中心とする季刊詩誌『現代詩ラ・メール』を創刊し、1993 年(平成 5 年)の終刊まで編集に携わり女性詩人の活動を支援した。

2000 年(平成 12 年)、勲四等瑞宝章を受章。

―新川和江と結城市―

1984 年(昭和 59 年)、結城市民栄誉賞受賞。市制 30 周年を記念して「結城市民の歌」を作詞。2001 年(平成 13 年)、結城市名誉市民の称号を贈られ、2004 年(平成 16 年)、ゆうき図書館名誉館長に就任。自身のコレクションを寄贈し「新川和江コレクション」整備に自ら携わる。詩を通して人生などさまざまなことを語り合える場「センダンの木の集い」を創設し、母校絹川小学校で開始する。2008 年(平成 20 年)、「新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」を創設。2012 年(平成 24 年)、結城紬大使に就任。石像「野の花」を寄贈。2026 年(令和 8 年)、代表作「わたしを束ねないで」の第一連が刻まれた詩碑が、結城市民情報センター・ゆうき図書館敷地内に建立された。



［写真］

手前：詩碑「わたしを束ねないで」（第一連）

直筆原稿から移された文字は、愛用していた万年筆のインクの色をイメージした紺色で刻まれている。

奥：石像「野の花」

結城市のすべての子どもたちを、いつまでもやさしい暖かさで見守り続けたいという気持ちが込められている。

ゆうき図書館で新川和江の世界にふれる

―新川和江コレクション―



ゆうき図書館の開館に際し、新川和江さんから約１万冊の自身のコレクションを譲り受けました。それらを「新川和江コレクション」として、師である西條八十のもとへはじめて持参した詩のノートや代表作「わたしを束ねないで」直筆原稿など貴重な資料とあわせ、図書館３、４階のギャラリーにて常時公開しています。

新川和江さんとともにつくった「新川和江コレクション」をご堪能ください。



―新川和江コーナー―

新川和江さんの著書及び『ゆうき図書館開館 20周年記念冊子　新川和江～詩人として、名誉館長として、ゆうき図書館と紡いだ二十年の歩み～』や「新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」受賞作品集など結城市ゆかりの資料をあつめ、１階にて展示しています。

―新川和江名誉館長室―

新川和江さんの特に思い入れのある資料として結城市に寄贈された、直筆屏風、西條八十・大岡信直筆の掛け軸など、貴重な資料を展示しています。

